

# 2015 年 IEEE 東京支部 総会資料

2015 年 3 月 20 日

IEEE 東京支部

<http://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

# 2015年IEEE東京支部総会

## 総 会

日 時： 2015年3月20日（金） 14時30分～15時00分

場 所： 機械振興会館 6階 6D-1&6D-2  
東京都港区芝公園 3-5-8

議 題：

第1号議案：2014年活動報告【以下、報告事項】

第2号議案：2014年決算報告

第3号議案：2015年活動計画

第4号議案：2015年予算

## 講 演 会

日 時： 2015年3月20日（金） 15時10分～16時10分

場 所： 同 上

講演者：中里 秀則先生（早稲田大学、IEEE Japan Council SAC Chair）

演 題：私のMGA体験談

## 新Fellow表彰式

日 時： 2015年3月20日（金） 16時20分～17時00分

場 所： 同 上

## 懇 親 会

日 時： 2015年3月20日（金） 17時00分～19時00分

場 所： Terrace Dining Tango（機械振興会館となり）

## 2015-2016 年IEEE東京支部役員・理事

### 1. 役員

Chair	支部長	萩本 和男	(NTT)
Vice Chair	副支部長	江村 克己	(日本電気)
Secretary	セクレタリ	原崎 秀信	(日本電気)
Treasurer	トレジャラ	藤代 博記	(東京理科大学)

### 2. 理事会メンバー

*萩本 和男	(NTT)	*中込 直幸	(日本電気)
*江村 克己	(日本電気)	*眞田 幸俊	(慶應義塾大学)
*原崎 秀信	(日本電気)	*奥田 治雄	(湘南工科大学)
*藤代 博記	(東京理科大学)	稲田 浩一	(フジクラ)
*前田 英作	(NTT)	西宮 康治朗	(シュルンベルジェ)
*松島 裕一	(早稲田大学)	津田 俊隆	(早稲田大学)
*福島 徹	(古河電気工業)	千葉 勇	(三菱総研)
*植之原 裕行	(東京工業大学)	高村 誠之	(NTT)
*佐波 孝彦	(千葉工業大学)	杉江 利彦	(NTT)

(注： \*印は、理事会の Voting Member。選挙で選出)

### 3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Promotion	前田 英作 (NTT)	川村 龍太郎 (NTT)	木村 昭吾 (NTT)
Fellow Nominations	松島 裕一 (早稲田大学)	浅田 雅洋 (東京工業大学)	盛田 逸郎 (KDDI 研究所)
Membership Development	福島 徹 (古河電気工業)	中村 浩史 (古河電気工業)	井 通暁 (東京大学)
Nominations	植之原 裕行 (東京工業大学)	二見 史生 (玉川大学)	水野 洋輔 (東京工業大学)
Technical Program	佐波 孝彦 (千葉工業大学)	瀬戸 一郎 (東芝 セミコンダク ター&ストレージ社)	萬代 雅希 (上智大学)
Publications	中込 直幸 (日本電気)	小糸 達也 (日本電気)	濱岡 牧子 (日本電気)
Student Activities ☆	眞田 幸俊 (慶應義塾大学)	植野 彰規 (東京電機大学)	稲森 真美子 (東海大学)
History	奥田 治雄 (湘南工科大学)		宮崎 孝 (日本電気)

☆Student Activities Student Representative 安井宏友 (東京理科大学 SB Chair)

## IEEE 東京支部 2014 年 活動報告

- 2014 年 IEEE 東京支部総会 参加者：32 名  
3 月 14 日 (金) 14 時 30 分～15 時 00 分  
・2014 年活動報告、2014 年会計報告、2014 年活動計画、  
2014 年予算の説明等の議事を行った。
- 理事会  
第 1 回理事会：2014 年 3 月 14 日 (金) 12:00～13:45 参加者：16 名  
第 2 回理事会：2014 年 6 月 6 日 (金) 15:00～17:00 参加者：14 名  
第 3 回理事会：2014 年 9 月 12 日 (金) 15:00～17:00 参加者：14 名  
第 4 回理事会：2014 年 12 月 5 日 (金) 15:00～17:00 参加者：21 名

### Professional and Continuing Education Activities

- 講演会
  - 1) 3 月 14 日 (金) 15 時 10 分～16 時 10 分 参加者：35 名  
※LMAG 共催  
演題：「IEEE Milestone 活動と日本の技術の世界への発信」  
講師：大野 榮一 氏 (三菱電機(株)社友)  
★The 2013 MGA Achievement Award 受賞  
★2013 R10 Outstanding Volunteer Award 受賞
  - 2) 5 月 22 日 (木) 12 時 15 分～13 時 30 分 参加者：100 名  
「NTT 音声符号化の基本技術 LSP Milestone 認定記念」  
※LMAG および IEEE SPS Japan Chapter 共催  
演題 1：「IEEE マイルストーン概要」  
講師 1：白川 功 氏 (Japan Council History Committee Chair, 兵庫県立大学)  
演題 2：「線スペクトル対 LSP の普及状況」  
講師 2：守谷 健弘 氏 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所フェロー)  
演題 3：「線スペクトル対 LSP の発案の経緯」  
講師 3：板倉 文忠 氏 (元 NTT 電気通信研究所、名古屋大名誉教授)
  - 3) 7 月 10 日 (木) 13 時 30 分～17 時 00 分 参加者：74 名  
※LMAG 主催/東京支部共催講演会  
「JAXA 施設見学会および立川敬二氏(前 JAXA 理事長)講演会」  
演題：「日本の宇宙開発と今後の展望」  
講師：立川 敬二氏(技術経営研究所代表、前 JAXA 理事長)
  - 4) 8 月 18 日 (月) 13 時 45 分～15 時 00 分 参加者：80 名  
※LMAG 共催  
「明電舎 MOSA Milestone 認定記念講演会」  
演題 1：「IEEE マイルストーン概要」  
講師 1：白川 功 氏 (Japan Council History Committee Chair, 兵庫県立大学)  
演題 2：「酸化亜鉛形ギャップレス避雷器 (MOSA) の誕生と普及活動」  
講師 2：小林三佐夫氏 (サージプロテクト KK パワーシステム代表)

(総会—第1号議案)

演題3：「酸化亜鉛形避雷器の最新技術動向」  
講師3：高田雅之氏（明電舎ソレスター工場 主任）

5) 11月12日（水）13時00分～15時00分 参加者：150名

※LMAG共催

「KDDI TPC-1 1964 Milestone認定記念講演会」

演題1：「IEEE マイルストーン概要」

講師1：白川 功 氏（Japan Council History Committee Chair, 兵庫県立大学）

演題2：「TPC-1 について」

講師2：江幡 篤士 氏（アジア海材エンジニアリング株式会社代表取締役、  
国際電信電話株式会社 OB）

講師3：田巻 八郎 氏（大洋海底電線株式会社 OB）

演題3：「TPC-1 から FASTER へ」

講師3：梧谷 重人 氏（KDDI 株式会社 グローバル技術・運用本部長）

6) 12月8日（月）15時30分～17時00分 参加者：80名

※LMAG および JC WIE 共催

演題：「出口指向のヒューマンインタフェース研究開発 ～非常識から常識へ～」

講師：土井 美和子 氏（独立行政法人 情報通信研究機構 監事, IEEE Fellow, 元東芝）

## Students Activities

- 1) 3月15日（土）IEEE LMAG/Student/YPs/WIE 交流会
- 2) 6月28日（土）第11回 学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ
- 3) 10月17日（金）～18日（土）2014IEEE Student Branch Leadership Training Workshop
- 4) 11月15日（土）第12回 学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ

## Affinity Group Activities

### 1 YPs

- 1) 3月15日（土）IEEE LMAG/Student/YPs/WIE 交流会
- 2) 6月28日（土）第11回 学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ
- 3) 11月15日（土）第12回 学生・若手技術者のためのキャリアアップワークショップ

### 2 Life Members

- 1) 3月14日（金）LMAG 総会
- 2) 3月14日（金）大野榮一氏講演会（東京支部と共催）
- 3) 5月8日（木）Newsletter 第12号発行／HP掲載
- 3) 5月22日（木）NTT LSP Milestone 認定記念講演会（東京支部と共催）
- 4) 7月10日（木）LMAG 主催 JAXA 施設見学会および立川敬二氏(前 JAXA 理事長)講演会
- 5) 8月18日（月）明電舎 MOSA Milestone 認定記念講演会（東京支部と共催）
- 6) 10月8日（水）Newsletter 第13号発行／HP掲載
- 7) 11月12日（水）KDDI TPC-1 1964 Milestone 認定記念講演会（東京支部と共催）
- 8) 12月8日（月）土井 美和子 氏講演会（東京支部、JC WIE と共催）

(総会一第 1 号議案)

### **Awards & Recognition Activities**

- 新 Fellow 表彰式：3月14日（金）15時00分～16時00分  
・新 Fellow は 5 名（2 名が表彰式に参加）

### **Communication Activities (Newsletter, Home Page, E-mail etc.)**

- Tokyo Bulletin を 8 回発行/HP に掲載した。  
(3月7日、4月23日、7月15日、8月29日、9月19日、11月21日、12月17、24日)

### **Other Organizational Activities**

- R10 Region 10 Annual General Meeting 2014 が 3 月 1 日～2 日マレーシア（クチン）において開催され、津田 Chair が参加した。
- IEEE Sections Congress 2014 が 8 月 22 日～24 日 オランダ（アムステルダム）において開催され、津田 Chair が参加した。
- Japan Council の Industrial Promotion 活動の強化を受け、IPC Pre Workshop の開催を支援し、11 月 8 日～9 日 早稲田大学において開催された（YPs, LMAG, と JC WIE 共催）
- 日本で初めての Section 傘下の History Committee を常設委員会として発足した。
- 現在 Japan Council 傘下に所属する Chapter を、支部傘下に移行する作業を進めており、東京支部ではこれまでに 20Chapter の東京支部傘下移行手続きを本部に申請している。

## 会員の状況

### 1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
2000	6,961	268	4.00	0	265	416	5,259	727	294
2001	7,200	239	3.43	0	275	431	5,143	983	368
2002	7,299	99	1.38	0	303	437	5,183	994	382
2003	7,318	19	0.26	2	308	429	5,595	587	397
2004	7,471	153	2.09	2	313	467	5,709	522	458
2005	7,708	237	3.17	2	326	467	5,856	541	516
2006	7,580	-128	-1.66	2	335	465	5,714	481	583
2007	7,560	-20	-0.26	2	334	451	5,722	491	560
2008	7,630	70	0.93	2	336	459	5,731	449	653
2009	7,814	184	2.41	2	336	459	5,880	408	729
2010	7,865	51	0.65	2	331	473	5,937	401	721
2011	7,763	-102	-1.30	2	335	497	5,800	416	713
2012	7,987	224	2.89	2	343	511	5,959	372	800
2013	7,911	-76	-0.95	2	342	507	5,937	280	843
2014	7,849	-62	-0.78	2	346	517	5,985	245	754

略号： HM: Honorary Member

F: Fellow

SM: Senior Member

M: Member

A: Associate

St: Student

### 2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50								
1964	666			1	8	105	302	99	151
1970	1,179	73	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	198	11.53	0	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	173	6.48	0	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	253	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	486	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1995	8,892	547	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
2000	10,867	492	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2005	12,703	450	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2010	13,770	96	0.70	4	517	775	10,205	675	1,594
2011	13,872	102	0.74	4	521	826	10,128	712	1,681
2012	14,298	426	3.07	4	528	875	10,449	617	1,825
2013	14,384	86	0.60	4	525	879	10,538	461	1,977
2014	14,231	-153	-1.06	4	524	898	10,598	420	1,787

## IEEE東京支部2014年決算

単位：日本円

	予 算 (1/1～ 12/31)	決算予想 (1/1～12/31)	対予算 (%)	備考
<b>収入の部</b>				
◆IEEE 本部勘定	15,390,000	17,649,712	115	\$1=¥90を想定
・支部リポート	2,790,000	3,152,805	113	US\$30666.33@¥102.81
・Section Assessment	12,600,000	14,496,907	115	前期：\$133,003.05@¥102.92 後期：\$6,871.57@¥117.62
◆雑収入	5,000	3,641	73	受取利息等
◆その他	-	1,483,209	-	監査費用本部より支援 (¥168,000) Yps, R10 Fund (\$2,200@102.81=¥226,182) Milestone Plaque立替分 (¥907,053)他 SBリポート (\$1,770@102.81=¥181,974)
◆積立金取崩	-	-	-	
・事務局設備基金取崩	-	-	-	
・為替変動準備金取崩	-	-	-	
収入合計	15,395,000	19,136,562	124	
<b>支出の部</b>				
◆Councilへの拠出金	12,600,000	14,493,907	115	Section Assessment全額 (受取手数料¥1,500*2回)
◆会合費	650,000	699,281	108	
・総会費	500,000	502,753	101	新Fellow記念品/資料印刷代/会場費
・講演会費	100,000	16,820	17	
・理事会費	50,000	49,221	-	12月開催の懇親会費は翌年に計上
・その他会合費	-	228,929	-	Milestone/MAW/Chapter移行委員会 等
◆Committee活動費	50,000	145,158	290	LMAG Newsletter No. 11, No. 13発行費用他 *LM Fund (\$1,000来年度受け取り予定)
◆Yps支援費	190,000	328,060	173	ワークショップ、R10 Congress支援費 等
◆Student Branch支援費	750,000	801,064	107	ワークショップ、R10 Congress支援費、 SBLW リポート支払い
◆事務局設備費	-	15,528	-	備品等購入
◆ITサービス運用費	860,000	859,950	100	常駐保守/トラブル対応/HP 等
◆通信費	5,000	360	7	宅急便/ハガキ・切手等
◆支払手数料等	150,000	282,533	188	内¥168,000円は監査費用
◆予備費	350,000	1,200,186	343	*Milestone Plaque立替分 (¥907,053) 全額返金済み *SC参加費補助
支出合計	15,605,000	18,826,027	121	
<b>収支</b>				
◆前年度繰越金	2,309,027	2,309,027	100	
◆次期繰越金	2,099,027	2,619,562	125	



## 財産目録

科 目	2014年12月31日	2013年12月31日
<b>Balance Sheet</b>		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金	2,619,562	2,309,027
○定期預金	16,698,343	16,698,343
◇現金・預金合計	19,337,905	19,027,370
◇その他流動資産		
流動資産合計 :	19,337,905	19,027,370
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
◇機器および備品		
◇減価償却累計額		
固定資産合計 :	145,600	145,600
資産合計 :	19,483,505	19,172,970
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
	202,059	0
2. 固定負債		
	0	0
負債合計 :	202,059	
3. 正味財産		
負債および正味財産合計 :	19,281,446	19,172,970
負債および正味財産合計 :	19,483,505	19,172,970
<b>Statement of Activities</b>		
I. 収益の部		
◇支部リベート	3,152,805	3,041,993
◇Section Assessment	14,496,907	13,110,969
◇その他(Milestone銘板代立替分/監査費立替分)	1,483,209	661,908
◇受取利息	3,641	2,191
◇Section Congress支援費		
◇雑収入		342
収益合計 :	19,136,562	16,817,403
II. 費用の部		
◇会合費	901,340	765,938
◇Student Branch支援費	801,064	953,921
◇YPs支援費	328,060	143,931
◇Committee費	145,158	105,132
◇Japan Councilへの拠出金	14,493,907	13,107,969
◇事務局費および一般管理費	1,158,371	1,178,865
◇予備費	1,200,186	1,113,227
◇減価償却費		
費用合計 :	19,028,086	17,368,983
正味財産増減額	108,476	(551,580)
期首正味財産	19,172,970	19,724,550
期末正味財産	19,281,446	19,172,970
<b>Statement of Cash Flows</b>		
I. 収入の部		
◇支部リベート	3,152,805	3,041,993
◇Section Assessment	14,496,907	13,110,969
◇予備費(Milestone/Section Congress)	1,483,209	661,908
◇受取利息	3,641	2,191
◇雑収入		342
収入合計 :	19,136,562	16,817,403
II. 支出の部		
◇会合費	699,281	765,938
◇Student Branch支援費	801,064	953,921
◇YPs支援費	328,060	143,931
◇Committee活動費	145,158	105,132
◇Japan Councilへの拠出金	14,493,907	13,107,969
◇事務局費および一般管理費	1,158,371	1,178,865
◇予備費(Milestone/Section Congress)	1,200,186	1,113,227
◇固定資産等購入		
支出合計 :	18,826,027	17,368,983
現金・預金増減額	310,535	(551,580)
期首現金・預金残高	19,027,370	19,578,950
期末現金・預金残高	19,337,905	19,027,370

## IEEE Japan Council 2014年決算

単位：日本円

	2014年予算 (1/1～12/31)	決算予想 (1/1～12/31)	対予算 (%)	備考
<b>収入の部</b>				
◆IEEE本部勘定	881,100	1,026,557	117	予算ではUS\$1=¥87を適用
・Chapter (WIEも含む) Rebate	881,100	1,026,557	117	US\$9,985.00@¥102.81
◆各支部よりの拠出金	21,600,000	25,520,221	118	US\$239,566.70 平均@¥101.92
・札幌支部		423,243		US\$4,224.62 @¥100.54(換金手数料¥1500 振込手数料¥864) (後期分：次年度の前期に請求。)
・仙台支部		1,214,022		US\$1,1812.66 @¥102.90(換金手数料¥1500 振込手数料¥432) 後期分：US\$402.35 @¥118.00(換金手数料¥1500 振込手数料¥432)
・信越支部		446,067		US\$4,379.33 @¥102.20(換金手数料¥1500 振込手数料¥216) 後期分：
・東京支部		13,687,173		US\$133,003.05 @¥102.92(換金手数料¥1500) 後期分：US\$6,871.57 @¥117.62(換金手数料¥1500)
・名古屋支部		2,222,688		US\$21,610.85 @¥102.92(換金手数料¥1500 振込手数料¥216) 後期分：
・関西支部		3,776,042		US\$37,162.25 @¥101.65(換金手数料¥1500 振込手数料¥216) 後期分：US\$1,049.37 @¥117.62(換金手数料¥1500 振込手数料¥216)
・広島支部		941,190		US\$9,145.76 @102.91(振込手数料¥648) (後期分：次年度の前期に請求。)
・四国支部		364,708		US\$3,602.64 @¥101.65(換金手数料¥1500 振込手数料¥432) 後期分：
・福岡支部		1,470,451		US\$14,625.54 @100.54(振込手数料¥540) 後期分：
◆雑収入	2,000	2,194	110	受取利息等
◆旧東京支部積立金より	1,000,000	-	-	
◆その他		189,000	-	本部より監査費用受領
収入合計	23,483,100	26,737,972	114	
<b>支出の部</b>				
◆事務局費	12,460,000	14,098,355	113	
・給料諸給	8,000,000	8,117,571	101	交通費、労働保険、所得税を含む(9月以降1名分)
・臨時雇費	-	-	-	
・事務所賃借料	2,900,000	2,727,100	94	管理費、光熱費を含む
・事務所設備費用	400,000	319,845	80	
・通信費	150,000	98,162	65	
・交通費	10,000	11,290	113	
・事務用品費	50,000	45,395	91	
・事務機器レンタル費	700,000	549,724	79	コピー機/ファックス機/コピー使用料等
・支払手数料等	250,000	2,229,268	892	銀行手数料、監査費用立替、派遣会社への支払い(9月以降派遣スタッフ費用追加のため)
◆会合費	3,500,000	5,706,384	163	
・理事会・各委員会費	2,000,000	2,860,908	143	参加旅費を含む(JC理事会、各委員会)
・その他会合費	1,500,000	2,845,476	190	<b>IPC(JIAB)関連費用(2015年本部よりサポート分入金予定)</b>
◆Section支援費	1,500,000	1,427,768	95	仙台、信越2件、名古屋2件、関西4件、広島、四国、福岡
◆Chapter支援	5,500,000	3,768,236	69	Chapter Rebateを含む
◆Student Branch支援費	1,000,000	496,503	50	SBLW(関西大学開催)
◆WIE支援費	300,000	343,867	115	
◆予備費	100,000	451,273	451	<b>SC参加費補助(本部からのサポートはCBに入金済み)</b>
支出合計	24,360,000	26,292,386	108	
収支	-876,900	445,586		
◆前年度繰越金	5,494,008	5,494,008	100	
◆次年度繰越金	4,617,108	5,939,594	129	

## 2015年 活動計画

### 1. 財政運営

2年前の円高に対応し、2013-14年執行部により効果的な予算の運用が行われた。その後の円安もあり、2013-14期の収支は健全。しかし今後も予断は許されないので、財政の健全化のため東京 セクションとしては理事会で決定された予算内での運営をこころがける。

### 2. Japan Council からの Chapter 移行の受け入れ

現在 Japan Council に所属している各 Chapter を適切なセクションに所属させる移行手続きは進んだが、未完了なので継続。東京支部は Chapter 設立支援委員会を中心に東京支部が所管となる Joint Chapter の設立に協力する。また移行後の東京支部における Chapter 運営を活性化する。

### 3. Japan Council 運営の支援

国内他支部(8支部)との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。東京支部の Secretary および Treasurer は Japan Council の同役職を兼務しており、それぞれの役割において Council の活動支援を推進する。

### 4. ボストン支部およびソウル支部との交流

2002年10月に調印を行ったボストン支部、2006年6月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、2008年から実施している学生英語論文コンテストを継続開催するとともに、さらに交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画する。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

### 5. Industry Promotion 活動の強化

R10 および Japan Council の Industry Promotion 活動の強化を受け、2014年11月に早大にて Japan Industry Promotion Workshop を開催した。2015年5月に MAW2015 (Metro Area Workshop) を計画、本部 Michel 会長参加予定。

### 6. Japan Council のサーバの更新の支援

経年変化によりサーバ更新あるいは本部システムへの移行が必要。本部システム利用試行、システム移行を支援する。

## 7. 委員会活動

### 7-1. Student Branch 活動支援

東京支部の学生ブランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学、東京理科大学、早稲田大学、中央大学(2012年10月設立)、東京農工大の(2012年12月設立)11校で、日本全国の学生ブランチはその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学、兵庫県立大学、徳島大学、関西大学、同志社大学があり(全国合計 26校)、それぞれ学生を中心としてIEEE活動が展開されている。学生ブランチ活動の促進として、Region 10主催の学生生活動への積極的な参加の呼びかけやブランチ活動への経済的支援などを通じたブランチ活動の活性化に協力するとともに、ブランチ新設への働きかけを行う。また、前述のボストン支部およびソウル支部との姉妹支部協定を踏まえて、学生英語論文コンテストやブランチ間交流等を推進する。

### 7-2. 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、引き続き Membership Development Committee の活動の活性化に努め、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増加を図る。また、高グレード会員(Fellow + Senior Member)の比率が、IEEEの全体平均より低水準にあることを踏まえて、Senior Memberの増強に向けた施策を検討する。

さらに、ホームページによる情報発信および効果的な活用を進め、支部独自の表彰制度の新設についての検討も行う。

### 7-3. IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEBを活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2012年と同様に、ノミネーションのための情報などを支部ホームページに掲載することによるミネータ支援の強化を図るとともに、Fellow、支部会員、各研究機関への電子メールを通じての広報を推進することで推薦数増を図り、Fellowへの昇格数の増加を図る。

### 7-4. 東京支部講演会の開催

Technical Program Committeeの活動を活性化させ、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画する。LMAG、GOLDほか各グループとの共催を積極的に推進する。また、ビデオでの記録および配信など新しい工夫を試みる。

#### 7-5. 会員への情報提供

東京支部ホームページの内容更新および拡充を進め、会員への情報サービスの向上を図る。Publications Committeeが発行するIEEE Tokyo Bulletin(日本語、英語)を通じて、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。

#### 7-6. History Committee

2014年、日本で初めてのSection傘下のHistory Committeeを常設委員会として発足した。今後も、Milestone認定への取り組みを引き続き積極的に行う。

東京支部60周年記念: History Committeeが中心となり、Webで簡単に済ます方向で検討。

2017年Histelcon 国際歴史シンポジウム: 開催の計画がある。開催時は支援を検討する。

#### 7-7. 若手会員およびLife会員向け活動の活性化

2008年11月に設立されたTokyo GOLD Affinity Groupを中心に、学部卒業後10年間のGOLD (Graduate of Last Decade) 会員向けの活動を活性化させる。

2010年10月に設立されたTokyo Life Members Affinity Groupを中心に、Life会員自身の活動の活性化を支援する。また、Young Professionals (2014からGOLDはYPs(卒業後15年間)に変更となった)、LMAGに加えてさらにJC WIEとの連携・交流を推進する。

#### 8. 本部およびRegion 10との連携強化

本部役員の訪日に対し、IEEE Japan Officeと連携して、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。

各種国際会議を積極的に開催・参加する。

本部およびRegion 10の各種委員会メンバーおよび各種Awardに対して、東京支部から積極的に推薦する。

#### 9. 2015年理事会/総会開催日程

第一回理事会/総会: 3月20日(金)

第二回理事会: 6月16日(火)

第三回理事会: 9月25日(金)

第四回理事会: 12月4日(金)

## IEEE東京支部2015年予算

単位：日本円

	2015年予算案 (1/1～ 12/31)	備考
<b>収入の部</b>		
◆IEEE 本部勘定	18,212,480	US\$1=¥104を適用
・支部リベート	3,224,000	US\$31,000 (Gross) を想定
・Chapterリベート	428,480	US\$4120,000 (移行済み16chapter分など) を想定
・Section Assessment	14,560,000	US\$140,000 (Gross) を想定
◆雑収入	5,000	受取利息等
◆その他	500,000	MAW本部からのサポート
◆定期預金から	816,000	
収入合計	19,533,480	
<b>支出の部</b>		
◆Councilへの拠出金	14,560,000	Section Assessment全額
◆会合費	650,000	
・総会費	500,000	資料印刷代/会場費/記念品
・講演会費	100,000	
・理事会費	50,000	
・その他会合費	-	
◆Committee活動費	50,000	LMAG活動費等
◆YPs支援費	130,000	
◆Student Branch支援費	1,000,000	R10 Student Congress 補助
◆Chapter支援費	428,480	Rebate支払い
◆事務局設備費	200,000	PC購入予定
◆ITサービス運用費	860,000	
◆通信費	5,000	宅急便/ハガキ・切手等
◆支払手数料等	150,000	銀行手数料等
◆予備費	1,500,000	事務局スタッフ雇用関連費用、MAW開催費用
支出合計	19,533,480	
<b>収支</b>	-	
◆前年度繰越金	2,619,562	
◆次期繰越金	2,619,562	

**2015年東京支部新Fellow**

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	Tetsuji Oda 小田 哲治	東京大学	<i>for contributions to electrostatics and high-pressure plasmas for environmental protection</i>
2	東京	Yoshihiro Shiroishi 城石 芳博	日立製作所	<i>for leadership in the development of high density magnetic recording technologies and devices</i>
3	東京	Haruhisa Soda 雙田 晴久	ファイベスト	<i>for contributions to vertical-cavity surface-emitting and distributed-feedback lasers</i>
4	東京	Yuichi Tohmori 東盛 裕一	NTT エレクトロニクス	<i>for contributions to tunable semiconductor lasers for optical fiber communications</i>
5	東京	Masashi Usami 宇佐見 正士	KDDI	<i>for contributions to development of high reliability semiconductor optical devices for undersea cable systems</i>
6	東京	Isao Yamada 山田 功	東京工業大学	<i>for contributions to inverse problems and learning in signal processing</i>

**2015年他支部新Fellow**

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	名古屋	Toshikazu Hori 堀 俊和	福井大学	<i>for contributions to broadband antennas for cellular and satellite communications</i>
2	名古屋	Makoto Iwasaki 岩崎 誠	名古屋工業大学	<i>for contributions to fast and precise positioning in motion controller design</i>
3	関西	Tsunenobu Kimoto 木本 恒暢	京都大学	<i>for contributions to silicon carbide materials and devices</i>
4	関西	Tadao Nagatsuma 永妻 忠夫	大阪大学	<i>for contribution to millimeter and terahertzwave communications using photonics</i>
5	信越	Kiyoshi Ohishi 大石 潔	長岡技術科学大学	<i>for contributions to development of fast and robust motion control systems</i>

**2015 IEEE Medals, Technical Field Awards, and Recognitions 日本人受賞者**

**[Medals]**

No.	名称	氏名/所属	Citation
1	IEEE Medal for Innovations in Healthcare Technology	TAKUO AOYAGI (Nihon Kohden Corporation)	<i>For pioneering contributions to pulse oximetry that have had a profound impact on healthcare.</i>

**[Technical Field Awards]**

No.	名称	氏名/所属	Citation
1	IEEE Cleo Brunetti Award	岩井 洋 (東京工業大学)	<i>For contributions to the scaling of CMOS devices.</i>
2	IEEE Andrew S. Grove Award	江刺 正喜 (東北大学)	<i>For developments in micro-electro-mechanical systems (MEMS) used in transportation and industrial electronics.</i>
3	IEEE Gustav Robert Kirchhoff Award	YOSIRO OONO (九州大学)	<i>For fundamental contributions to the foundation of classical circuit theory.</i>
4	IEEE Innovation in Societal Infrastructure Award	石井 威望 (東京大学)	<i>For pioneering the concept of dependable autonomous decentralized systems and contributing to its practical application in early transport control systems.</i>
5		HIROKAZU IHARA (International Institute of Intelligence and Information)	
6		市川 淳信 (東京工業大学)	

**[Recognitions]**

No.	名称	氏名/所属	Citation
1	IEEE Haraden Pratt Award	原島 文雄 (首都大学東京)	<i>For outstanding leadership in globalization and diversity of IEEE communities.</i>

以上



# **The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.**

## **Tokyo Section Bylaws**

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

### **Article I - Name and Territory**

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

### **Article II - Officers**

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

### **Article III - Standing Committees**

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
  - Chapter Promotion
  - Fellow Nominations
  - Membership Development
  - Nominations
  - Technical Program
  - Publications
  - Student Activities
  - History
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.
3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

### **Article IV - Management**

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

**Article V - Nomination and Election of Officers**

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

**Article VI - Business Meeting**

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

**Article VII - Finances**

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

**Article VIII - Amendments**

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ( $\frac{2}{3}$ ) majority vote of the Section Executive Committee.

3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

- 
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 14<sup>th</sup> March 2014.

事務局連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館 517 号室

Tel: 03-5776-7670

Fax: 03-5401-3850

Email: [tokyosec@ieee-jp.org](mailto:tokyosec@ieee-jp.org)